

トミコの週末ガーデニング

文:富山昌克



ダイコン②



作業手順

※8月号の「タネまき」の続きです

間引きと土寄せと施肥

タネまきから1週間後に発芽します。双葉がでたら1本を間引き、残った苗が倒れないように土寄せします。1㎡当たり30gの緩効性化成肥料を株と株の間に散布します。本葉が3枚になったら再び間引きをして、1か所に2株にします。

間引き菜は味噌汁などに入れて食べましょう。徒長した間引き菜はカイワレダイコンをつくります。

再度間引き

本葉が6枚になったらまた間引きをして、1か所に1株にします。再び緩効性化成肥料30gを株間にばらまき、株元に土寄せします。

収穫

地上部の根の直径が6cmになったら、根元を持って引き抜きます。横に揺ると折れることがありますので、まっすぐ引き抜くことが上手な収穫のしかたです。タネまき後70〜80日で収穫しましょう。遅れるとスが入って(空洞ができて)品質が悪くなります。

POINT

初心者はハツカダイコンがおすすめ

名前の通り、20日でできる小さな大根ですが、浅漬けなどにするとおいしくいただけます。栽培すると実際は30〜40日くらいかかることがあります。子どもさんと一緒に育ててみるのも食育の1つになります。



コラム

消化の良い野菜の代表格

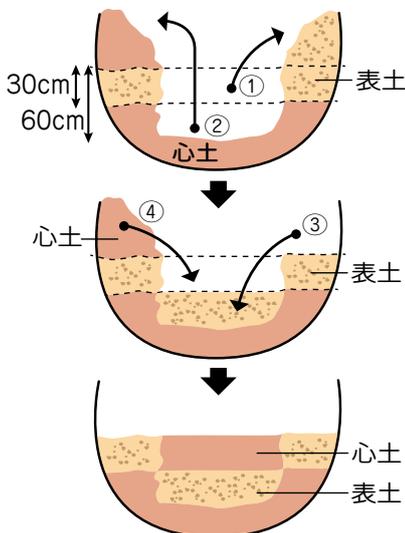
昔から消化の良い野菜といわれ、胃腸薬のように利用されてきたようです。タンパク質分解酵素のプロテアーゼ、消化酵素のジアスターゼ、ビタミンCなどが含まれ、生のまま食べた方が効果的に摂取できます。大根の葉も鉄、カルシウム、カロテン、食物繊維が豊富に含まれています。

保存法

大根をまるごと購入したときは、新聞紙で包み、冷暗所で立てて保存します。切ったものは断面を乾燥させないようにラップなどで覆い、冷蔵庫内で立てて保存するのが新鮮さを保つ方法です。

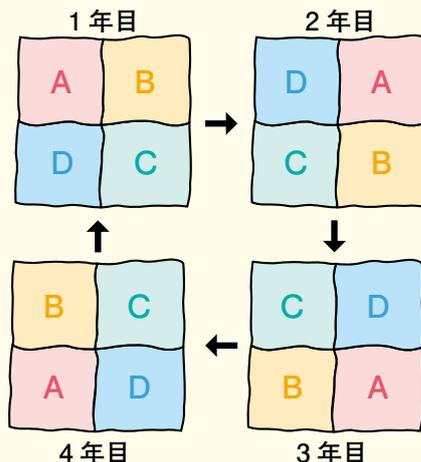
輪作できない方は、天地返し！

- 主に冬期に行う土づくりの方法です。
- ①園芸用ショベルの足かけに足をのせ、体重をかけて畑の表土にぐっと差し込み、表土を約30cm掘り上げます。
 - ②もう一度、ショベルを約60cmまで差し込み、その下の土(心土)を別の場所に掘り上げます。
 - ③最初に掘り上げた①の表土を掘った穴底に戻します。
 - ④その上に②の心土を埋め戻します。



	夏野菜(5月~10月)	秋・冬野菜(9月~12月)
A	ナス科 トマト、ナス、ジャガイモ、ピーマン	キク科 レタス、シュンギク、ゴボウ、アーティチョーク
B	ウリ科 キュウリ、カボチャ、メロン、ゴーヤ、スイカ	セリ科 ニンジン、パセリ、セロリ、ミツバ
C	マメ科 エダマメ、インゲン、ソラマメ、エンドウ	アブラナ科 キャベツ、ハクサイ、ダイコン、コマツナ
D	ヒルガオ科 サツマイモ、クウシンサイ	ユリ科 タマネギ、ネギ、ニンニク、アスパラガス

小さな畑でもたくさん野菜を採りたい！皆さんが思うことですが、同じ仲間の野菜を同じ場所で栽培し続けると、連作障害が起ってきます。まずは「科」(野菜の分類)を意識して覚えることから野菜作りが始まります。畑を4区画にして、次の4パターンを輪作していきましょう。



輪作できないときは、堆肥を施したり、接ぎ木苗や抵抗性品種を植えたりすることで、連作障害を防ぐことができます。

野菜作りにおいて最も大切なこと

輪作の考え方

輪作とは畑を区別して科ごとに野菜を割り振り、ローテーションさせて、連作障害を回避する方法です。